



刊日曜日四月二日 日一十月二年五和昭 第百九十四號

座講識常  
リアインは洗練の事  
だ上品に美しく磨き上  
げると立派に完成し  
た物をリアインと云  
はるがリアインメント  
も云ふ彼の女をリアア  
インセは相當なものだ  
など云ふのも其の意

### 櫻の松ヶ岡公園に 明日八百名の団体 吏員藝妓連が驛前に出迎へて 愈々殿りの大盛りか

平公園の櫻花の早咲きが花見  
の人々を狼狽させたが其れだ  
け散る花が借まれてか後の觀  
賞に合へない出入を指示し例年  
に於ける満開以前の賑かさを  
續けてゐるが愈々殿りの大團  
体であらう明二十一日は水戸  
運輸事務所主催に係る助川開  
本間各駅から集つた八百名の  
觀櫻客が平驛午前九時五十八

### 矢の目如來寺の 國寶を御開帖 如來の尊像三尊來迎佛の幅 廿八日から一般拜觀に

石城郡夏井村矢の目如來寺  
は元享二年僧良山の開基と云  
はれる古刹で藤原氏の息女眞  
戒比丘尼が携へた國寶如來の  
尊像あるに因つて松峯山眞戒  
院とも號せられ浄土宗名越派  
四本山の一つに數えられた奥  
州總本山専勝寺の祖寺である  
同寺の寶庫に納むる前記の  
如來と彌陀三尊來迎佛の大福  
は正四年三月國寶に指定さ  
れて以來一般の拜觀を行はれ  
ずにおられたが新住職宗川宗滿  
師は今年其の筋の許可を得て來  
る二十七日師の普山式を開く  
當日招待の人々に開帳するに  
引續いて二十八日から三十日

### 來月中旬には来る 平にも今年の初鯉 目下の漁場は青ヶ島附近で 昨年よりは良好の模様

石城の各濱は鯉漁期に近づい  
て出漁の準備中である目下の  
同漁は小笠原以南青ヶ島沖附  
近が盛期で本縣當業では江名  
町の清勝丸が同海區に遠征し  
てゐるが昨十九日までは魚群  
に出會しがら餌付不良のため  
未だ一回の漁事を上げざるも  
土佐及び静岡の當業漁船は去  
る十八日一雙で六千尾（静岡  
漁船）の豊漁を占めたる外既  
に數萬尾を漁獲した本年の漁  
況は例年より稍良好らしく魚

### 拾遺歌中題詞の「さ」は 現今の湯本(三箱)町に懸く 飯坂温泉元湯の鮭湖に強引、 建碑せるは無稽、不當の極み

序いでに思ひ付いたから言  
ふが、新古今集に著載する能  
のく、野田の玉川千鳥なく  
因法師(康平前後の人)が「み  
ちのくにまかりける時よめ  
の今云ふ市川の末流、舊名八

### 穀物優良生産者表彰 共同受検組合聯合會

- 石城郡穀物共同受検組合聯合  
會では優良生産者の表彰式を  
舉行するが受賞者は次の如く  
である
- △平町根本熊太郎 △神谷村木村力 志賀孫次郎 △草野村吉野清十郎 佐藤吉四郎 金賀徳貞 鈴木忠三 猪狩義一 △平窪村福藤平 愛川元次郎 △泉村江尻昇一 山崎正明 △大浦村藤岡一天 會田新平 坂本幸之助 東條光平 佐久間政五郎 小室未太郎 岡田兼次 加藤清次郎 酒井善惣 治 愛川長吉 △小川村草野勇 白石榮吉 △好間村吉

### 危険！列車に投石 手荷物車の窓を破壊 平署で犯人嚴探中

十八日午後六時廿一分通常警  
線仙台發上り上野行旅客第二  
百卅六列車が草野驛を發車平  
驛に向つて發進中草野村網谷  
地内踏切附近に差しかゝつた  
際前部から三輻目の手荷物車  
を目標に大石を投げたもの  
あり窓ガラスを破壊したの  
みで被害なかつたが十九日後  
藤平驛長が平署に告發したの  
で目下犯人嚴探中であるが通

### 表彰された 完納町村 財務協議會の席上 五ヶ村に傳達さる

平稅務署管下各町村の財務關  
係協議會は既報の如く十九、  
二十日の兩日署の樓上に開催  
され左記諸項の協議を終る昨  
二十日は納稅成績優良町村に  
對し稅務監督局長から毎年二  
月十一日の紀元節に於て授與  
される表彰状

### 小川江組合 議員改選 二十五日執行

小川江水利組合會議員定員二  
十七名の改選は愈々二十五日  
各町村に於て執行されるが各  
町に於ける定員は次の如く  
である

- 小川村二名 平窪村(赤井を含む)五名 神谷村五名 大野村一名 大浦村五名 草野村八名 四倉町一名

### 東此六縣の 海洋打合 水産試驗場長出席

東北六縣の海洋打合せ會は去  
る十八日から二十日まで青  
森縣八戸に催され主として漁  
撈方面の聯合打合せをされた  
が本縣からは水産試驗場長が  
出席した

### 炭車に狹まれ 坑夫惨死

内郷村大字宮字峯根繁城炭礦  
坑夫佐藤藤助(三七)は昨十九日  
午前十一時半頃繁城第三斜坑  
に入坑石炭の運搬作業中誤つ  
て炭車と炭壁の間に狹まら胸  
部を壓迫慘死した草刈部長檢  
視の上屍体は家人に引渡した

現金を遺失  
平町番匠町橋本龜吉さんは十  
八日午後五時頃縣社子會社  
社から博覽會場までの途中で  
現金六圓餘在の中の零口一を  
落失して平署に届出た

# 産業方面

## 施肥餘談

9 農試本場内山生

であるが故に此の最適量は隣り合せの水田であつても當然一形式の施肥であつては望み得ない譯であり、必ずその田に限られたる獨特の施肥を必要とする、決して他の水田に利用すべきでない場合が多い、氣候、灌漑水、品種がたとへ同一であつても土壌は常に必ず異なる、例令表層耕土が同一であつても底土が著しく違ふことも又多い、従つて施用すべき肥料の用量も種類も決して人真似であつてはならない、

ところが實際に於ては殆んど人真似の場合が大部分である、然らざれば施肥の決定に當つて特殊な信頼し得る正當な論據を有せず自分勝手の自己流であることが多い、更に悪いことには之れに怒が手傳つて隣りの田吾作が窒素四貫も打ち込んださうだから俺はマガ／＼すると負けて了ふぞ、よし一つ奮發してその上をやつて四貫五百貫入れるが、何れ秋の收穫に李助氏の度勝をぬいてやるからその時になつて驚くなど取らね狸の皮算用に行き過ぎる、これでは物真似よりも更に甚だし

これでは將來幾十年経つても改良も進歩も遅々して振はず常に頭上には凶作や飢饉が降りつてゐると云ふものである、

**油問屋 關内油店**  
支那山形市駅前通 電話長三二八  
支店 大坂東本陣前 電話長平海七三  
油指出張所 平町四丁目 郵便局前

**特約販賣**  
ガソリン  
モビール油  
日本株式会社  
石油株式会社

**正確 体温計 寒暖計**  
計量器指定販賣 (種各)  
平町五丁目角  
**山野邊藥局**

玉付ノ石板ガ樂ニ入りマス... 九五錢ヨリ

**學習院型ランドセル**  
**サイゴ一印學生帽**  
**女學生用手提カバン**

入學用品店內陳列  
入學ト進級ノ準備ニ  
念入ニ吟味セル實用品揃イ

**ツルヤ**  
平四・電一四〇

内科、小兒科  
**大森醫院**  
醫學士 大森 勇  
平町南町 電話二五八番

債券 公債 兩替 金融  
**多田井質店**  
平町大町 電話五九一番

洋服は **高島屋**  
注文並に既製品  
特製男女通學服! 特價提供...

男子一年生用 紺サージ 三圓九〇錢より  
紺サージ 一圓六十錢より  
小 倉 同 一圓四十五錢より  
女子用 サージ 三圓三〇錢より  
紺サージ 一圓六十五錢より  
綿サージ 一圓三〇錢より  
X 其他春物新荷豊富取揃 X

**高島屋洋服店**  
平町二丁目 電話三八六

入院 應需  
**明雲堂眼科醫院**  
平町前 電六六九番

煙草は **朝日**  
朝日 朝日 朝日  
金屋商店

新時 代の 要求  
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平町南町 電話三〇七  
**平看護婦會**  
會長 清野キヨ

御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭

町屋紺平町  
**藤沼醫院**  
番七〇五電

貸手車  
平谷

一般印刷物も御引受致します  
新しいわき新聞社

たる各種優秀藥  
強力流經劑  
治淋新劑トリックス

特約店 (平町五丁目通り) **山野邊藥局**

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一  
電話六四一

内科 院長 醫學博士 石山謙郎  
小兒科 部長 醫學博士 賀一忠  
産婦人科 部長 醫學博士 十嵐雄二  
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 町久藏  
皮膚泌尿科 部長 醫學士 山澤正  
性病科花柳科 部長 醫學士 山澤正  
X 光線科 醫學博士 石山謙郎  
衛生試驗所 部長 醫學士 後山謙  
藥局 藥劑師 吉本孝利  
事務局長 鈴木寶雄

(毎日午前八時より午後十時迄診察)  
病室完備 入院隨意

百萬の富より健康  
此新療法で病弱を御試しなさい

「治療代」は當分一回三十錢として居りますが、家庭の事情により割引も施察も致します

嘘か實か百聞一見御試し下さい

治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九)  
日夜後は 一丁目自宅(電話四七〇)

醫師 飯田近治